

+

特定非営利活動法人 日本地域部活動文化部推進本部

令和3年度 事業計画書

1 事業実施の方針

令和3年度の特定非営利活動に係る事業において、それぞれ次の段階までの事業推進を目指す。

① 地域部活の理想像及びその在り方全般に関する企画プロデュース事業

5月実施の発信イベント「地域部活プレゼン&パフォーマンス2021」を契機に全国に向けた発信を始め、法人全体として事業を本格化できるようプロデュースを進める。

② 中学生・高校生が参加する各地域の拠点における活動（以下「拠点活動」という。）を支援するためのプログラムデザイン・教材開発・広報ツール制作事業

掛川市以外の活動拠点でも活用可能な形を念頭に、中学生と高校生それぞれの活動を支援するための各種制作を具現化していく。

- ・年3回の部内発表会の企画制作の流れの円滑化、活動デザインシート（フォーマット）の作成 等
- ・活動サイクル（企画構成→計画→準備→実施→振り返り）の理解促進のための教材制作 等
- ・来期の新入部員募集のためのチラシやWEBコンテンツなどの制作 等

そのほか、秋開催の地域芸術祭を目標に中学生と高校生のコラボレーションによるプログラムの企画制作を進める。

③ 各拠点をつなぐオンライン講座を担当する専門家（講師）の招聘及び発信事業

表現・制作・運営それぞれの専門家（講師）によるワークショップ実施のため、外部講師の交渉・招聘を進め、WEB会議システム等を活用したプログラムを部員のニーズに沿いながら適宜に実施する。

④ 拠点活動の運営を支援するICT環境構築及び管理用データベース等のシステム開発事業

・ICT環境構築

チャットツールやクラウド上の共有カレンダーやドライブを活用するなど、情報共有を本格稼働していく。

・管理用データベース等のシステム開発

本部における情報管理と、拠点活動における情報管理の双方を本格稼働していく。

⑤ 公式ウェブサイトやSNSの開設及び発信事業

5月実施の発信イベントを起点に、外部への発信を進める。中学生・高校生ともにSNSを通じた発信も順次進めていく。

⑥ 地域部活・全国展開の具体的な方策と部活動改革の本質を周知するための各種コンテンツ制作事業

5月実施の発信イベント「地域部活プレゼン&パフォーマンス2021」の開催を通じて、地域部活動の考え方やビジョン、ならびに実践の一部を直接発信し、各界の関係者への理解促進と改革への啓発を図っていく。そのほか、出版物およびネット掲載記事等を通じて、同様に周知を図っていく。

⑦ シティズンシップ教育（市民性を高める教育）の観点からの地域部活に関する長期研究及び地域振興やまちづくりへのインパクト評価事業

⑧ 道徳（特定非営利活動に係る事業）と経済（その他の事業）の両立を目指す観点からの報徳仕法（江戸時代末期の二宮金次郎による農村復興の実践）の現代的応用に関する実践研究事業

⑨ スポーツ系、文化系を問わず部活動改革の動向と将来に向けての教育改革を視野に入れた地域社会が要請する人材育成に関する調査研究事業

以上の3つの事業については、理事会のもとに設置する各作業部会（ワーキンググループ）の組織化と協議を進め、研究事業の短期・中期・長期のビジョン策定と研究手法の検討から始めていく。令和3年度内に研究事業の方針を形にし、翌々年度の発信イベントのプレゼンでの計画発表を目指す。

⑩ 拠点活動の運営団体との連携及び各種コンテンツや運用システムの提供事業

5月の発信イベントを契機に、地域部活動に関心を持つ自治体や各種団体に連携を呼びかけ、コンテンツやシステムの共有について案内ができるように進めていく。

⑪ この法人が直轄する拠点活動の主催及び運営事業

・中学生の部活動（掛川未来創造部 Palette）

プロジェクトチーム体制に移行して2年目を迎える Palette では、自分たちで部活動を動かしていくプロジェクトマネジメントを部内全体への浸透を図っていく。表現・制作の各ジャンルを希望する多様な部員の入部を受け入れ、かつ機能していく部活動の在り方の基礎を築く。

・高校生の部活動（掛川未来創造部「名称未定」）

令和3年度に創部し、4月に体験入部、5月から活動を開始する。5月の発信イベントを通して地域部活動の在り方への理解を深めた上で、中学生とは異なる、独立した高校生の部活動を稼働する。秋の地域芸術祭に関わる企画では中学生（Palette）とのコラボレーションも行う。

その他の事業については、令和3年度では高校生の部活動の進捗状況をふまえながら、今後どのような事業が推進可能か、調査及び構想を練るところから進めていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

翌年度：令和3年5月1日～令和4年4月30日まで

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
① 地域部活の理想像及びその在り方全般に関する企画プロデュース事業	理念及びビジョンを示す資料作成を行う。	通年	法人事務所	3名	教育関係者 自治体関係者 報道関係者等 200～300名	360
② 中学生・高校生が参加する各地域の拠点における活動を支援するためのプログラムデザイン・教材開発・広報ツール制作事業	プロジェクトチームの計画から実施までのガイド教材制作を行う。 部員募集、体験入部案内チラシの制作等を行う。	通年	法人事務所	3名	現部員(中学生) 70名 新中学1年生 (市内1000名)、 新高校1年生 (約500名)	2110
③ 各拠点をつなぐオンライン講座を担当する専門家(講師)の招聘及び発信事業	専門家によるワークショップの実施や配信を行う。	年数回	実施・収録： 活動拠点 及び 法人事務所 発信： オンライン	3名	現部員(中学生) 70名	850
④ 拠点活動の運営を支援するICT環境構築及び管理用データベース等のシステム開発事業	ICT(チャットツール等)環境構築を行う。 管理用データベース開発及びメンテナンス、データ入力等を行う。	通年	法人事務所	4名	現部員(中学生) 保護者 140～150名 管理スタッフ 4～5名	1130

⑤ 公式ウェブサイトやSNSの開設及び発信事業	公式ウェブサイト更新・運用を行う。	通年	法人事務所 活動拠点 美感ホール	5～7名	不特定多数	120
⑥ 地域部活・全国展開の具体的な方策と部活動改革の本質を周知するための各種コンテンツ制作事業	発信イベント「プレゼン&パフォーマンス2021」開催、資料の編集制作を行う。	開催 5月 制作 通年	法人事務所 活動拠点 美感ホール	5名	教育・行政など 関係者 200～300名 制作スタッフ および部員 4～5名	1050
⑦ シティズンシップ教育（市民性を高める教育）の観点からの地域部活に関する長期研究及び地域振興やまちづくりへのインパクト評価事業	作業部会の組織化、研究事業の短中長期のビジョン策定と研究手法の検討を行う。	通年	法人事務所 オンライン (WEB会議)	3名	作業部会のメンバー及び スタッフ 6～7名	50
⑧ 道徳（特定非営利活動に係る事業）と経済（その他の事業）の両立を目指す観点からの報徳仕法（江戸時代末期の二宮金次郎による農村復興の実践）の現代的応用に関する実践研究事業	作業部会の組織化、研究事業の短中長期のビジョン策定と研究手法の検討を行う。	通年	法人事務所 仰徳記念館 会議室	4名	作業部会のメンバー及び スタッフ 6～7名	20
⑨ スポーツ系、文化系を問わず部活動改革の動向と将来に向けての教育改革を視野に入れた地域社会が要請する人材育成に関する調査研究事業	作業部会の組織化、研究事業の短中長期のビジョン策定と研究手法の検討を行う。	通年	法人事務所 オンライン (WEB会議)	3名	作業部会のメンバー及び スタッフ 6～7名	20

⑩ 拠点活動の運営団体との連携及び各種コンテンツや運用システムの提供事業	連携に関心を持つ自治体及び団体への働きかけと案内を行う。	通年	法人事務所 オンライン (WEB会議) 及び訪問	3名	スタッフ 2~3名	200
⑪ この法人が直轄する拠点活動の主催及び運営事業	中高生それぞれの活動の管理・運営を行う。(通常活動、部活体験&説明会、部内発表会、新1年生体験入部等)	通年	活動拠点 美感ホール など	プロデューサー - 顧問・副顧問 スタッフ8名	現部員(中高生) 体験入部参加 (新1年生) 100名	1014

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込額(千円)
① 物品の販売事業	調査及び構想の検討	年度後半	法人事務所	2~3名	0
② 広告代理店事業	調査及び構想の検討	年度後半	法人事務所	2~3名	0